

災害復興制度研究所の情報発信



関西学院大学 災害復興制度研究所 『復興のカタチ』

関西学院大学災害復興制度研究所「チャンネル登録者 10人・57本の動画」
関西学院大学 災害復興制度研究所...さらに動画
kwansei.ac.jp/fukkou... 毎1回のリンク

チャンネル登録

2022年6月からYouTube「復興のカタチ」で動画配信



【災害復興制度研究所】所長対談



【災害復興制度研究所】研究所紹介(日本語、英語)

阪神・淡路大震災30年特別企画



震災レジェンドが語る阪神・淡路大震災30年

震災復興を最前線で牽引してきた「震災レジェンドのインタビュー動画(復興の歩みと未来への教訓)」を制作し、2024年9月から毎月17日配信

関西学院大学災害復興制度研究所 (2025年4月1日付)

所長	山 泰幸	(人間福祉学部 教授)
副所長	照本 清峰	(建築学部 教授)
主任研究員	羅 貞一	(学長直属 特別任期制准教授)
運営委員	関 嘉寛	(社会学部 教授)
	岡田 博史	(法学部 教授)
	栗田 匡相	(経済学部 教授)
	岡田 太志	(商学部 教授)
	村瀬 義史	(総合政策学部 准教授)
	池埜 聡	(人間福祉学部 教授)
	白波瀬達也	(人間福祉学部 教授・学長補佐)



関西学院大学

KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY

災害復興制度研究所

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1番155号

TEL: 0798-54-6996 FAX: 0798-54-6997

<https://www.kwansei.ac.jp/fukkou>

E-mail: fukkou-entry@kwansei.ac.jp

研究所公式
YouTube
『復興のカタチ』



研究所公式
Facebook



学術交流ネットワークの構築



2025年日韓共同シンポジウム(2025年1月13日)

「阪神・淡路大震災30年、国際的な視点からの教訓と挑戦、そして地域コミュニティ基盤の災害レジリエンスの向上」を主題で5つの海外研究機関が参加

関西学院大学 災害復興制度研究所



関西学院大学 災害復興制度研究所

関西学院大学は阪神・淡路大震災によって23人の学生・教職員を失いました。激甚被災地・西宮にある大学として、その直後から、学生を中心とした震災救援ボランティア活動や各学部の教員による復旧・復興の研究が行われてきました。震災から9年が過ぎた2004年1月、学長主導の全学的な試みとして阪神・淡路をはじめ全国の自治体・大学・NPOなどの復興支援関係者を一堂に集めた「災害復興制度研究プロジェクト」が開始されました。その結果、関学の強みである人文・社会科学の研究を生かし、よりよい災害復興制度を研究・提案する独立の研究所を新設することになりました。災害復興制度研究所は、2005年1月17日、阪神・淡路大震災からちょうど10年の節目に誕生しました。人文・社会科学を中心にした「復興」制度の研究に焦点を合わせる点では全国唯一の研究所です。

*「人間の復興」とは、関東大震災後の厚生経済学者である福田徳三（1874-1930）の考えに基づき、単なる物的・経済的復興ではなく、被災者の尊厳を守り、心身の健康を取り戻し、地域社会の再生を支援することにあります。

災害復興制度研究所 復興・減災フォーラム（毎年1月開催）



初日：全国被災地交流集会「円卓カフェ」



2日目：シンポジウム・パネルディスカッション

1.17 阪神・淡路大震災の時期、2日間、復興・減災フォーラムを開催

- 2025年テーマ：「阪神・淡路大震災30年、問い直そう—私たちの被災者責任・これからの被災地責任—」
- 特別講演、基調報告、基調講演、パネルディスカッションなど

現研融合・現地調査



2008年 日本災害復興学会発足



2011年 東日本大震災

人材育成及び地域社会への貢献



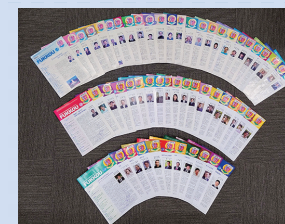
災害復興学A
【被災者支援】



災害復興学B
【人の復興・まちの復興】

復興・減災ワークショップ
（小・中・高）

災害復興制度研究所刊行物・書籍



- 復興・減災フォーラム 記録集（2009年～）
- ニュースレター 2005年12月～、Vol.1～Vol.56
- 紀要、災害復興研究 Vol.1～Vol.16
- 災害復興制度研究所 叢書第一編『人間の復興』
- 災害ボランティアハンドブック、原発避難白書など